

オープンプラン6年生

比と比の値「割合の表し方を考えよう」

「同じ長さの棒を使って、直角三角形をつくりましょう。」



「このようなものは、なしです。辺と辺がぴったりくっつくようにします。」

やってみましょう。

取り組み始めると、思っていたよりも難しいこの課題に子ども達は苦戦していました。しかし、しばらくすると「できた!」という声が聞こえてきました。

できた時の各辺に使った棒の本数は、

- ① 3本、4本、5本 や
- ② 5本、5本、7本 でした。

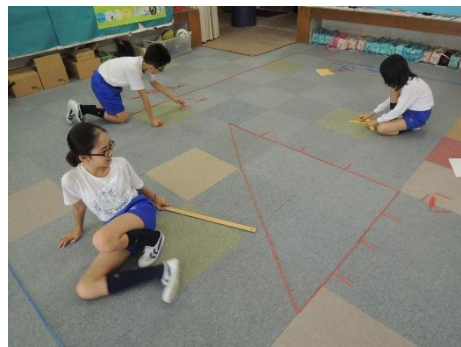


すると、「わかった!」という声が聞こえてきました。

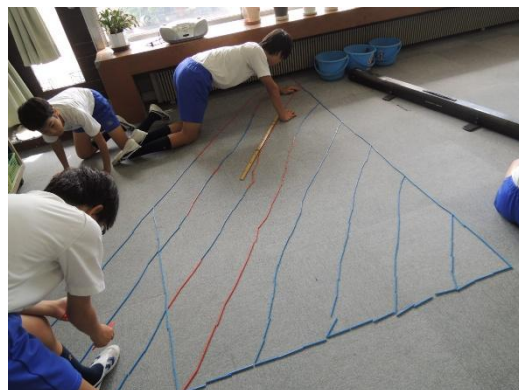
何がわかったのかと思い、その子のところに行ってみると・・・



大きな直角三角形
をつくっていました。



こんなふうにつくっている人たちもいました。





子ども達に直角三角形ができた本数を尋ねると、

「3本、4本、5本」

「5本、5本、7本」

「6本、8本、10本」

「9本、12本、15本」

・

・

・

「30本、40本、50本」

などたくさん挙げられました。

子ども達は、この活動を通して「3辺の長さの比を3:4:5にすると直角三角形ができる。」
ということに気がつくことができました。

「では、3辺の長さの比を3 : 4 : 5にすれば直角三角形ができるのでしょうか。」

初めは、120cmのひもで挑戦。これを3 : 4 : 5に切り分ける。

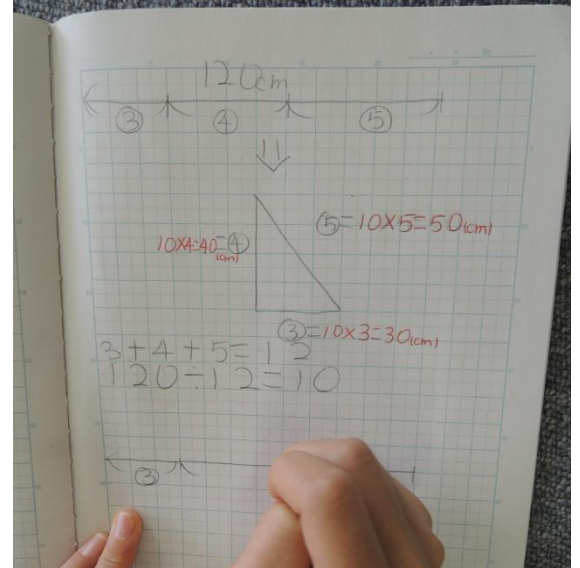
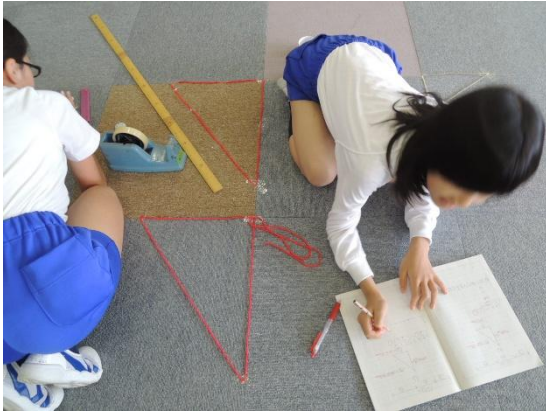
「どうやったらいいのだろう？」

すると、ノートに図をかいて考える子どもが現れました。

「12(3+4+5)で割ればいいんだ！」

という考えがでてきました。

そして、実際にやってみます。



「できた！！」

次からは、自分で適当な長さにひもを切り、3 : 4 : 5に挑戦です。



すごーーく大きなものをつくる人も、すごっく小さいものをつくる人もいて、多様です。子ども達が、椅子に座っているばかりでなく、実際に物を動かし、手を動かし、思考することを大切にしています。「大きいのがつくっちゃおう！」「すごい小さいのがつくったら面白そう」

自分で自分なりの楽しみを見つけながら学習に取り組んでほしいと思っ
ていながら授業をしています。